

No.149
2022
Summer

Hachinohe
Institute
of
Technology
Press
SOUKYU

蒼穹

学校法人八戸工業大学 広報

H. I. T. Communication

第75回 青森県高校総体
男子総合優勝 闘魂旗獲得
女子総合準優勝 友情杯獲得



CONTENTS

八戸工業大学第一高等学校

p2-3 第75回青森県高総体／進路展望／第73回クリーン白銀／国民スポーツ大会強化指定選手／JUMPチーム委嘱状交付式／生徒総会／公式 Twitter 開設

八戸工業大学

p4-5 PC アーカイブ展／ばんらほ紹介／医工連携事業／チーズ製造実習／環境芸術学会奨励賞受賞／新入生交流イベント／体育祭／幼稚園児とSDGs／研究室紹介（折田研究室・野口研究室）

p6-7 卓球部インカレ出場／硬式野球部準優勝／バレーボール部ベスト16／ウミネコロゴマーク採用／サークル紹介／OBの活躍／保護者後援会／主な日程／電子情報通信学会研究会開催／オープンキャンパス予定／2023年度入試日程

八戸工業大学第二高等学校

p8-9 第75回青森県高総体／高総体ポスター表彰／美術コーススケッチ実習／クリーンアップ大作戦／看護出前授業／MC 医療系大学見学会／北里大学見学会／選挙出前講座

さくら幼稚園

p10-11 うんどうかい／みどりの風／ようちえんってこんなところ／とらんぼりん

八戸工業大学第二高等学校附属中学校

p12 防災・減災教育研修／オリエンテーション／校内弁論大会

p12 理事会・評議員会／寄付のお願い

Mobile & iPhone & Android
モバイルサイトへアクセス▶▶▶



第75回青森県高等学校総合体育大会



第75回県高校総体を振り返って

6月3日から6日にわたり、「君が創り 君が輝く 時代となれ」のスローガンのもと、第75回青森県高等学校総合体育大会が開催され、県内各地の会場で熱き戦いが繰り広げられた。今大会は、新型コロナウイルス感染防止のため、来場者を限定して実施された。

早期開催の硬式野球部ベスト4、自転車競技部優勝と続いた。6月2日の結団式では、田名部PTA会長から「早期開催の部活動が幸先の良いスタートを切ってくれた。その勢いに続

いて闘魂旗と明朗旗を獲得してほしい」と激励した。

本大会では男子は6競技が優勝し、2大会連続25回目の総合優勝を成し遂げ「闘魂旗」を獲得し、女子は2競技の優勝により、29年ぶり2回目の総合準優勝の「友情杯」に輝いた。

冬場の頑張りや練習メニューの工夫により、男女合わせて13種目が3位以上を獲得。スポーツ名門校としての証を示した。

結びに、日頃本校の教育活動にご理解ご支援を頂いている関係各位に改めて感謝申し上げます。

特別活動指導部長 石藤 壽也

男子総合優勝2大会連続25回目 闘魂旗獲得 女子総合準優勝29年ぶり2回目 友情杯獲得

青森県高校総体入賞部一覧

男子種目

○団体優勝

自転車競技部	3大会連続26回目
レスリング部	8大会連続17回目
ソフトテニス部	2大会連続42回目
ウエイトリフティング部	6年ぶり15回目
水泳部	2大会連続27回目
ボウリング部	6大会連続12回目

○団体準優勝

剣道部
登山部
ボクシング部

○団体第三位

バスケットボール部

○団体第四位

硬式野球部
アーチェリー部

女子種目

○団体優勝

ソフトテニス部	4大会連続19回目
水泳部	8大会連続14回目

○団体準優勝

ボウリング部

レスリング部

小川 大輝(機械コース3年/日和田東中)	フリースタイル・グレコローマン55kg級
久田 虎徹(普通科1年/八戸中)	フリースタイル・グレコローマン60kg級
村田 健介(総合コース2年/八戸三中)	グレコローマン65kg級
荒川 寛満(普通科1年/白銀中)	フリースタイル71kg級
於本 匠(土木コース2年/雁巣中)	フリースタイル・グレコローマン125kg級
松野 桃圭(情報コース3年/下長中)	女子57kg級
高橋 叶実(普通科1年/市川中)	女子62kg級

水泳部

片野 晴己(特別進学コース3年/三条中)	100mバタフライ、400m個人メドレー、男子4×100mメドレーリレー、男子4×100mフリーリレー、男子4×200mフリーリレー
林崎 隼(特別進学コース3年/北後中)	100m平泳ぎ、200m平泳ぎ、男子4×100mメドレーリレー、男子4×100mフリーリレー、男子4×200mフリーリレー
齋藤 汰気(特別進学コース3年/田舎館中)	男子4×100mメドレーリレー
工藤 巴琥(工業科1年/北後中)	200m個人メドレー、男子4×100mメドレーリレー
黒瀧 巧翔(普通科1年/弘前南中)	男子4×100mフリーリレー、男子4×200mフリーリレー
佐々木瑞翔(普通科1年/八戸東中)	男子4×100mフリーリレー、男子4×200mフリーリレー

青森県高校総体個人優勝一覧

高松 美緒(特別進学コース3年/三条中)	100m自由形、女子4×100mメドレーリレー、女子4×100mフリーリレー、女子4×200mフリーリレー
楢館 寿音(特別進学コース3年/八戸東中)	女子4×100mフリーリレー、女子4×200mフリーリレー
中山 千尋(総合コース3年/北後中)	女子4×100mメドレーリレー
山村 碧姫(スポーツ進学コース2年/八戸東中)	200m自由形、400m自由形、女子4×100mメドレーリレー、女子4×100mフリーリレー、女子4×200mフリーリレー
岩間 祐美(普通科1年/八戸東中)	女子4×100mメドレーリレー
片野 由奈(普通科1年/三条)	200m個人メドレー、400m個人メドレー、女子4×100mフリーリレー、女子4×200mフリーリレー

ソフトテニス部

佐藤 光(普通科1年/胆沢中)	ダブルス
畠山 真碧(普通科1年/河南中)	ダブルス

自転車競技部

下田 睦恭(電気コース3年/六ヶ所第一中)	1kmタイムトライアル、チームスプリント、4kmチームパーシュート
-----------------------	-----------------------------------

山道 蓮(電子通信コース3年/階上中)	スクラッチ、4km速度競争、チームスプリント、4kmチームパーシュート
横葉 駿里(公務員コース3年/湊中)	4kmチームパーシュート
瀨川 翔太(情報コース2年/江陽中)	チームスプリント、4kmチームパーシュート
木村 隆成(情報コース2年/江陽中)	ポイントレース
小向 陸(工業科1年/六戸中)	400mタイムトライアル

登山部

中山 葵(建築コース3年/中沢中)	山岳知識
-------------------	------

ボウリング部

佐々木歩夢(情報コース2年/白山台中)	男子個人戦
石川 優心(公務員コース3年/四和申)	女子個人戦、女子2人チーム戦
奥井ゆうか(公務員コース3年/八戸第二中)	女子2人チーム戦

ボクシング部

佐々木琥珀(スポーツ進学コース2年/福地中)	女子の部ライトフライ級
------------------------	-------------

ウエイトリフティング部

松坂 悠生(情報コース2年/根城中)	55kg級
朝倉芳之臣(電気コース2年/根城中)	96kg級
小芝 裕三(土木コース2年/根城中)	73kg級
澤田 佳鈴(電子通信コース2年/道仏中)	女子49kg級

進路展望 ～コロナ禍の企業～



例年4月と6月に採用のお礼と情報収集を目的として県内外の企業訪問を行っている。この訪問は、企業との信頼関係を築くうえで大変重要であるが、コロナ禍により2年続けて断念せざるを得ない状況であった。行動規

制緩和が進んでいる間に、何とか実施したいと計画している。

生徒数の減少と進学率の上昇、コロナ禍の影響により新卒採用は厳しくなっており、何とかして人材を確保したいと企業は苦しんでいるが、生徒にとっては好条件で多くの企業の中から選択できるチャンスでもある。新卒社員には大きな期待がかけられており、信念を持って希望する仕事の採用試験に臨めば合格できる可能性は高い。

今年度は進路指導部と3学年スタッフで予定している県内企業の訪問をし、収集した情報を進路指導に役立て、生徒の就職活動を支援したい。

進路指導部長 石橋 哲

国民スポーツ大会強化指定選手

5月23日、青森県競技力向上対策本部から2026年に青森県で開催される国民スポーツ大会に向けた強化指定選手にアイスホッケー部の澤口輝君(3GB)が選ばれ、指定証が交付された。

U18(18歳以下)男子日本代表の一員として、4月にスロバキアで行われた世界選手権に出場した澤口君は「すべての力が自分たちよりも上だった。もっと練習して強くなりたい」と各国の選手から刺激を受けたことや、来年1月の八戸国体に向け「大会で学んだことをチームメイトに伝え、少年の部で初優勝を成し遂げたい」と抱負を述べた。

また、本校から強化指定拠点校にアイスホッケー部、レスリング部男女、自転車競技部、ソフトテニス部男子も選ばれた。



生徒総会

5月11日、生徒総会が行われた。生徒会長の澤口輝君(3GB:写真中央)から、あいさつやマナーの向上をはじめとした「5つの取り組み」について説明があった。続いて、令和3年度の庶務報告と決算報告、



令和4年度の予算案と年間計画、各委員会委員長より今年度の活動計画が発表された。生徒全員が資料に目を通しながら真剣に話を聞いていた。質疑応答では活発な質問や要望が出され、充実した総会となった。

クリーン白銀

6月2日、「力をひとつに心をひとつに」をスローガンに、今年度1回目のクリーン白銀を実施した。

1学年は正門から湊中学校方面、2学年は山手通りから多目的運動場方面、3学年は白銀駅方面への通学路を各クラスから選出された総勢50名で行った。生徒たちは、日頃利用している通学路で地域のみなさんと挨拶を交わしながらゴミ拾いに精を出していた。

この行事は昭和54年から現在まで、73回実施されており、学校周辺の美化活動を通じて地域社会への感謝と生徒の健全育成を目的として始まった。



JUMPチームの委嘱状交付式

5月31日、本校男子7人女子2人の9名に、JUMPチームの委嘱状交付式が行われた。藤澤校長から「ぜひ本校の模範となり、率先して活動をしてください」という激励の言葉が送られ、メンバーたちは真剣な面持ちで返事をしていった。

JUMPチームとは、Juvenile(少年) Misconduct(非行) Prevention(防止)の頭文字をとり、「少年非行防止」と「少年の飛躍」の意味を込めてつけられた名称。これから八戸警察署と協力して、挨拶運動、環境美化活動、非行防止ポスター作成・掲示や文化祭での非行防止広報活動などを行っていく。



公式Twitter開設

待望の本校公式Twitterを開設！
定期的に行事毎の様子や情報を発信していきますのでフォローをお願いします！
本校HPにも掲載中です。



パソコンアーカイブ展開催

私達 ICT アーカイバーズは八戸中心街の“ばんらぼ”にて、50周年学生チャレンジプロジェクト事業の一環として5月21日から6月5日までパソコンと本学の歴史を結びつけた「創立50周年記念パーソナル・コンピュータ・アーカイブ展」(写真右)を開催した。昨年はメンバーと協力し、パソコンの進化と本学の歴史を一つの冊子にまとめる作業をした。今年はこの冊子をベースに、大学と地域の関わりをより感じられるような展示を目標に、新しいメンバーとともに検討や準備を進め、無事開催を迎えることができた。

本展示のもう一つの目標は、世代間の交流の促進である。今回我々が選んだパソコンの多くは、40代以上の人々にとって仕事や趣味で思い出がある機種と想像している。会場には家族連れや、上司と部下或いは先輩と後輩といった関係と思われる来場者が訪れ、展示物を軸としたコミュニケーションが取られており、目標はある程度達成できたのではないかとと思う。パソコン収集にご協力いただいた関係各位の皆様改めて感謝し、お礼を申し上げる。

工学研究科 電子電気・情報工学専攻
博士前期課程 2年 赤松 笙太 (写真左)



医工連携事業

～車椅子収納式移動型 PCR検体採取 BOXを開発～

5月12日、八戸平和病院の依頼を受けて開発した「車椅子収納型のPCR検体採取BOX」の完成発表会を、医工連携「はちのへSTYLE」のメンバーと共にに行った。

本学機械工学コース自動車工学プログラムの駒井南海さん(4年: NHK 学園) (写真) が設計に大きく携わっており、医療者へのプレゼンテーション用の模型作成を担当した。

医師・看護師等様々な立場の医療者の意見を取り入れ開発された「Boxer Type Move」は、安全性はもちろん、車椅子患者を乗せたまま移動可能。機動性や利便性においても優れ、利用者から高い評価を得ている。

本学はこれまで八戸医師会や医療機関の要請を受け、様々な新型コロナウイルス医療現場支援を行ってきた。中でも医工連携「はちのへSTYLE」では様々なタイプのPCR検体採取BOXを開発、製品化してきた。全国的に珍しいこの取り組みは多くのメディアでも紹介された。はちのへSTYLEの今後の活躍を期待したい。

工学科(機械工学コース) 准教授 浅川 拓克

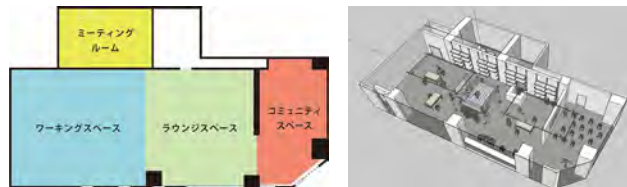


ばんらぼ紹介

4月に番町サテライトキャンパス(通称:ばんらぼ)がオープンし、公開講座や展示の会場などに活用されている。

会場はワンフロアを3スペースに区切っており、打ち合わせ用ミーティングルームも備えている。人数や用途にあわせて自由に使用できる。一般向けに貸し出しも行っており、詳細はばんらぼホームページにて公開中である。

SNS 公開中: HP (<http://banlab.hi-tech.ac.jp>),
Twitter (@bancho_lab)



チーズ製造実習

5月、生命環境科学科2年生は食品製造を学ぶため、チーズ製造実習を行った。

チーズ製造は器具の洗浄から始まり、朝9:00に原乳150Lが納入されると牛乳の加工作業を開始する。1日目の作業は、低温殺菌、乳酸菌の添加、固化、ホエー(乳清)の分離など。学生は班別に作業を分担し、全員参加でチーズ製造を経験した。1日目の終わりには3個合計で約18kgのチーズが出来上がった。しかしこれで美味しいチーズの完成ではない。これから加塩、拭き取りと乾燥、真空パックを行い、約1年間は低温で熟成させる。今年の2年生が3年生になるころには本格的なゴーダチーズになっているはずだ。

工学科(生命環境科学コース) 教授 藤田 敏明



環境芸術学会奨励賞受賞

感性デザイン学科講師東方悠平氏(写真)が、環境芸術学会から2021年度環境芸術学会奨励賞を授与された。令和2年度文化庁新進芸術家海外研修制度の助成を受けて実施したベトナム社会主義共和国でのアートプロジェクトや、継続中のフィリピンと八戸とをアーティストがつなぐ「Port to Port プロジェクト」など、近年のものを対象に芸術環境を社会へと拡張していく活動として評価されたものである。東方氏は「本賞受賞を励みとして、いっそう教育・研究に励みたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます」と述べた。



新入生交流イベント

4月8日、全学部一斉の親睦を深めるイベント（従来の新入生オリエンテーション）が本学キャンパスで開催された。

コロナ禍で仲間づくりが難しい環境の中、学生同士の親睦を深め横のつながりを作る一助になればと、学務部および学内ワーキンググループが企画した。学生らはグループワークやゲストを招いての交流イベントなどを楽しんだ。



体育祭開催

6月6日、第49回八戸工業大学体育祭が開催された。当日はあいにくの雨模様で、体育館を中心に全7競技が行われ、多くの学生や教職員が参加し交流を深めた。

表彰式では体育会より入賞者やMVP受賞者に豪華賞品が贈られた。



園児と南郷でSDGs

本学が取り組む「しまもりSDGs実践プロジェクト」の一環で、休耕田を利用したさつまいもの苗植えを行った。5月24日は、学生とさくら幼稚園の園児が作業し、学生は子どもたちに優しく手順を教えていた。秋の収穫時期には、一緒にさつまいも掘りをする予定である。



研究室紹介

今年度着任された先生方を、紹介します。

折田久幸研究室

省エネ強化とカーボンニュートラルの研究

化石燃料を使い二酸化炭素(CO₂)を排出した結果、温暖化が進み異常気象を起こし、CO₂排出の削減が社会課題となっている。今、従来の省エネに加え未利用熱である200℃以下の排熱を回収し活用する省エネ強化が求められており、CO₂排出量と吸収量を均衡させるカーボンニュートラル(以下、CN)の実現、エネルギーインフラの再編が急務となっている。

当研究室では省エネ強化として100℃以下の低温排熱を活用し、氷点下冷熱を製造する吸収冷凍機の開発を行っている。従来の吸収冷凍機は臭化リチウム水溶液を作動液とし、約4℃の冷熱を製造するが、1-プロパノールを作動液に加えることで-4℃の冷熱を製造できるようになった(装置写真)。



工学科(機械工学コース)教授 折田 久幸



野口巧巳研究室

最新技術・知見を用いたコンクリートの耐久性評価

本研究室では、コンクリートの性能や耐久性、劣化現象の地域性に関する研究を行っており特に凍害を主対象としている。

東北・北海道などの寒冷地では、コンクリート内の水分が凍結と融解を繰り返すことによりひび割れやスケーリングと呼ばれる表層の剥落が発生、強度や耐久性の低下、美観の悪化などを引き起こす凍害という劣化現象がみられる。そのため、コンクリート構造物の長期利用の観点から、寒冷地では凍結融解作用に対する抵抗性の高いコンクリートを使用することや凍害を念頭に置いた維持管理、補修、補強が重要となる。

実験室での促進凍結融解試験によって凍結融解抵抗性の評価を行うのが現状だが、この試験は若干の条件変更で試験結果が大きく変動する場合があります。専用の装置や数カ月の期間が必要なことから簡易的に評価することが難しい。そこでその試験結果を人工知能(AI)を用いて予測し、凍結融解抵抗性の評価を行うことを目指した研究に取り組んでいる。

工学科(建築・土木工学コース)助教 野口 巧巳



凍害によるベランダの損傷



卓球部、東北学生春季リーグ戦2連覇

5月14日・15日に宮城県・塩釜ガス体育館で令和4年度東北学生卓球連盟春季リーグ戦兼インカレ予選大会が開催された。初戦で富士大学に1-4で敗れたが、その後の試合に全て勝利し、男子I部リーグで2年連続優勝を果たした。優勝に大きく貢献した大澤翔吾（土木建築工学科4年／青森・東奥学園高）は優秀選手賞に選ばれた。13回連続20回目の出場となる全日本大学総合卓球選手権大会（団体の部）は7月6日～9日に愛知県・スカイホール豊田で開催される。

卓球部監督 塩入 彬允



バレーボール部東日本インカレ、ベスト16!

6月22日から東京都で開催の2022年度東日本インカレに出場、本学は初戦で新潟大学（北信越学連1部）に2-0で勝利、2回戦は学習院大学（関東学連3部）に3-0で勝利した。3回戦は日本体育大学（関東学連1部）に0-3で敗退、ベスト16となった。コロナ禍で十分な練習時間を確保できない中、4年生を中心に一致団結し本大会を戦い抜くことができた。秋季リーグ戦に向けさらなるレベルアップを図りたい。

バレーボール部監督 黒滝 泰世



ウミネコ繁殖地指定100周年ロゴマーク採用

「燕烏ウミネコ繁殖地」指定100周年の記念ロゴマークに、荒木田琴音さん（感性デザイン学科4年／八戸工大二高）のデザイン案が採用された。水産科学館マリエントで表彰のセレモニーが開催され、進呈式とマーク入り記念看板除幕式も行われた。

荒木田さんは「繁殖地をロゴマークに表現するのが難しかった。このマークがウミネコ同様に燕烏を訪れた人に愛されて欲しいと想いを込めて制作した。」と語った。

ウミネコの親鳥がヒナを優しく抱きしめる姿が何とも愛おしいマークは、燕烏の入口看板だけでなく、市内各所の郵便ポストや消印などにも採用されている。



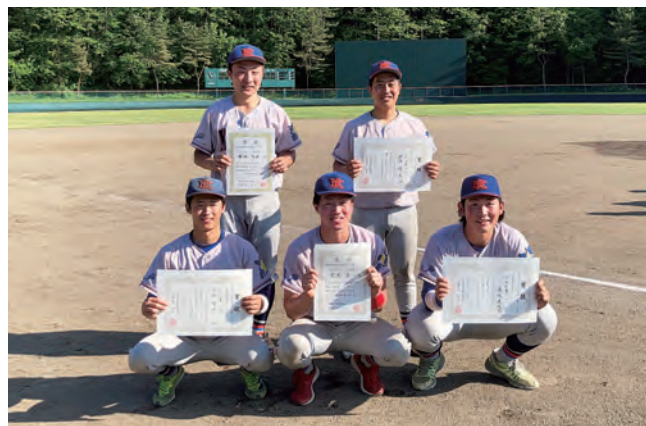
硬式野球部、春季二部リーグ2位

春季二部リーグ戦、6戦全勝同士（対岩手大学）で迎えた最終週（5/28・29）は、2戦ともに1点差での敗退。指導者を含めた、チームリーダーの気迫の差が勝敗を分けた。リーグ戦を通しての個人賞の受賞者は、多数選出されたものの、一部昇格を目指しているチームにとっては素直に喜ばない。秋季二部リーグ戦は圧倒的なチーム力で優勝し、絶対一部昇格を皆さんに報告します。

硬式野球部顧問 大室 康平

<個人賞受賞者>

打点王：磯嶋優真 捕手（土木建築工学科2年／八戸工大二高）
 盗塁王：貝森響貴 内野手（土木建築工学科3年／秋田・大館桂桜高）
 優秀選手賞：渡辺凌晴 投手（電気電子工学科2年／八戸工大一高）
 ベストナイン：若松凛内野手（土木建築工学科3年／秋田・秋田修英高）
 田端陸玖 外野手（建築・土木コース1年／八戸工大一高）
 磯嶋優真、貝森響貴



前列：左から貝森・若松・渡辺 後列：左から田端・磯嶋

サークル紹介

ストリートダンス愛好会

当愛好会は毎週月曜日から金曜日に活動しており、ジャンルを問わずJ-POPやロック、ボカロなど、経験者初心者関係なく踊りたい曲に挑戦し、動画の振りを覚えたり、教えあったりしながら楽しく活動している。

今年、本学創立50周年にあたり「学内・学部の魅力」を全国の皆様に知ってもらおうと、緑黄色社会の[Mela!]という曲を踊ることにした。

自分たちで振付・動画作成し大学HPでの公開や学園祭企画を予定している。是非皆さんに見ていただき、ダンスの魅力を堪能してほしい。

ストリートダンス愛好会

機械工学科2年 竹ヶ原 琢社（十和田工高）



OBの活躍

～地域産業貢献賞表彰～

4月6日、八戸工業大学表彰式が行われ、本学OB(株)サンライズエンジニアリング代表取締役社長の赤坂太樹氏(写真左)に、坂本学長より「地域産業貢献賞」が贈られた。

本表彰は、本学の教職員、学部卒業生、大学院修了生を対象に、優れた成果を挙げた教育や研究および社会貢献の活動等を評価し、選出するものである。

赤坂氏は、自社の強みであるプレス加工製造の高い技術力を活かして新たにアウトドアブランドを立ち上げ、地域の活力増進に貢献した試みが評価されての受賞となった。



保護者後援会代議員会新会長就任

6月11日、八戸グランドホテルにて令和4年度保護者後援会代議員会(写真)が開催され、令和3年度事業報告、決算報告、令和4年度事業計画、予算、新役員委嘱について審議を行い了承された。

新会長に葛西琢磨氏(写真前列右から4人目)が選出され、久慈剛前会長からバトンが渡された。



主な予定(8月～10月)

※予定変更の場合があります。大学HPでご確認ください。

8月	2日～8日	前期定期試験
	6日・7日	オープンキャンパス
	9日	夏季休業開始(～9/15まで)
	12日～16日	大学休業
9月	3日	保護者懇談会(弘前)
	4日	保護者懇談会(八戸)
	11日	保護者懇談会(青森、秋田)
	12日	保護者懇談会(盛岡、仙台)
	7日～14日	前期補習・再試期間
10月	22日	創立50周年記念式典
	22日・23日	学園祭

電子情報通信学会研究会を開催

6月16日・17日、本学多目的ホールにて、電子情報通信学会の4研究専門委員会(回路とシステム・VLSI設計技術・信号処理・システム数理と応用)による合同研究会が、オンラインとのハイブリッド形式で開催された。コロナ禍により近年はオンラインのみの開催が続いていたが、今回3年ぶりに現地開催を実現した。全国各地から約20名の研究者が本学に来訪し、オンライン参加者とともに活発な研究討論を行った。

本研究会開催にあたり多大なご協力をくださった本学教職員と合同研究会関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

工学科(電気電子通信工学コース)准教授 越田 俊介



夏のオープンキャンパス開催予定

開催予定日: 8月6日(土)・7日(日)

HPでは、オープンキャンパスや入試情報などを発信しています。

詳細については入試情報インフォメーションからご確認ください。

(<https://www.hi-tech.ac.jp/exam/info>)



2023年度入試日程

入試区分	願書受付期間(必着)	試験日	
総合型選抜試験	第1クール	9月14日(水)～9月22日(木)	10月1日(土)
	第2クール	11月16日(水)～11月25日(金)	12月3日(土)
	第3クール	1月23日(月)～2月1日(水)	2月13日(月)
	第4クール	2月27日(月)～3月3日(金)	3月8日(水)
学校推薦型選抜試験(指定校制)「専願」	11月4日(金)～11月10日(木)	11月19日(土)	
学校推薦型選抜試験(公募制)「他大学との併願を認める」	11月28日(月)～12月6日(火)	12月14日(水)	
一般選抜試験	前期	1月4日(水)～1月20日(金)	2月2日(木)
	後期	2月13日(月)～2月23日(木)	3月3日(金)
大学入学共通テスト 利用選抜試験	前期	1月4日(水)～1月20日(金)	2023年1月14日(土) 1月15日(日)の 大学入学共通テスト
	中期	2月1日(水)～2月13日(月)	
	後期	2月27日(月)～3月13日(月)	
社会人特別選抜試験	前期	11月16日(水)～11月25日(金)	12月3日(土)
外国人留学生 特別選抜試験	後期	11月16日(水)～11月25日(金)	12月3日(土)
		2月27日(月)～3月3日(金)	3月8日(水)

第75回青森県高等学校総合体育大会



6月4日～7日、第75回青森県高等学校総合体育大会が青森市を主会場に開催され、本校は13競技に出場した。多くの3年生が今大会で部活動の引退となるため、どの運動部もこれまでの集大成として、ベストを尽くせるよう日々鍛練を重ねてきた。

団体競技では、女子サッカー部が決勝進出を果たし、男子硬式テニス部は個人・団体ともに最後は惜しくも敗れてしまったが、持てる力を出し切り、見事な第三位入賞を果たした。残念ながら入賞できなかった部も、チーム一丸となり、最後まで諦めない姿勢で戦い抜いた。心身ともに逞しく大きな成長を見せた熱い高校総体であった。



高校総体 ポスター表彰

第75回青森県高校総合体育大会ポスターコンクールにおいて、最優秀賞に美術コース2年生の丸谷佳乃さん（白銀南中／写真中央）、優秀賞に猪股紗葉さん（市川中／写真左）、橋場柚里奈さん（大館中／写真右）が選ばれ、5月26日に本校にて表彰式が行われた。

美術コース

❖ スケッチ実習 ❖

5月24日・25日、美術コース校外スケッチを実施した。今年は奥入瀬溪流と湊町の2ヵ所に分かれ、自然が生み出した美しいコントラストや、人工物と自然物の調和を題材にスケッチした。

両日とも晴天に恵まれ、湊町では停泊した船や、趣のある路地を細密に描く生徒が多くいた。奥入瀬溪流では、生徒たちはそれぞれ気に入った場所で集中して制作に取り組み、光の差し込む水辺の絵を楽しんで描いていた。



蕪島



奥入瀬溪流



初夏のクリーンアップ大作戦

6月11日、195名の生徒が、初夏のクリーンアップ大作戦と称して、蕪島、館鼻漁港、白浜海岸の清掃活動を行った。この行事は、環境衛生と社会奉仕について学ぶとともに、地域への貢献を目的として、毎年本校が行っている。生徒たちは1～3年生の学年混合の縦割り班ごとで、担当の区域のごみ拾いなどにいそしんだ。参加した生徒は、「タバコの吸い殻やペットボトルのポイ捨てが多かった」「観光で来た方々に、少しでもきれいな景色を見てもらいたい」と述べた。



看護出前授業

6月10日、本校会議室において「看護の日・看護週間事業『みんなで話そう—看護の出前授業』」を実施した。講師に十和田市こっ子まんま助産院の山端澄子氏を迎え、看護師としての実体験や大切な心構えなどについて講演いただいた。参加した医療・看護系進路を希望する生徒13名は、真剣に耳を傾けていた。

講演の後半は感染症ガウンの着用の仕方や、血圧測定の方法などを実際に教わり、看護の仕事の楽しさや難しさを学んだ。



MC医療系大学見学会

5月27日、医療系クラスの10名が、東北メディカル学院、八戸看護専門学校、八戸学院大学健康医療学部を訪問した。近隣にある医療系大学・専門学校の見学は、地域医療への理解を深めると共にホームページだけでは分からない学校の情報を得たり、雰囲気を感じることを目的としている。参加した生徒は、「研究していることや、学生生活を具体的に知ることができ、参考になった。進路選択に役立てたい」と述べた。



北里大学見学会

6月11日、2学年39名が、北里大学獣医学部の見学会に参加した。コロナ禍で、県外のオープンキャンパスへの参加が躊躇されるなか、大学見学の機会を増やし、進路意識の向上に繋げようとして行われた。

獣医学部の説明、農場や病院の見学を終え、参加した生徒は、「青森でこのような研究をしている大学があることを知って驚いた」「動物病院の設備が本格的で、印象的だった」と述べた。



選挙出前講座

6月8日、本校第二体育館にて、選挙出前講座（青森県選挙管理委員会・八戸市選挙管理委員会主催）が行われ、2年生と3年生の270名が参加した。この講座は、選挙権年齢が満20歳以上から満18歳以上に引き下げられたことにもない、高校在学時より有権者意識の涵養と選挙に関する知識の習得を目的としている。

青森県選挙管理委員から、選挙についての説明を受けた後、生徒たちは模擬選挙を行い、投票を体験した。参加した木村岳寛さん（カレッジコース3年／八戸東中）は「模擬選挙を体験してみて、投票は意外と簡単だと分かった。もうすぐ18歳になるので、責任をもって投票しに行きたい」と述べた。



うんどうかい

～ 年長 遊戯 [Y・M・C・A] ～



「ここをひとつにして
がんばるぞ!!!」



「さいごまで、がんばるぞ!!」

～ 年中 かけっこ ～



「ゴールをめざして、がんばるぞ☆」

～ 満3歳・年少 親子ゲーム ～



～ 八戸工業大学吹奏楽部 ～



「おにいさん、おねえさん、ステキなえんそうと
おてっだいありがとうございます♡」

6月25日(土)運動会が開催された。運動会の練習をすることを伝えると「うんどうかいてなあに?」と聞いてくる子もいたが、本番を迎えるまで練習することで少しずつやることがわかってきたようだ。当日は、お家の人と一緒に嬉しい、離れたくない感じの子どもたちだった。役員のほか、八戸工業大学吹奏楽部にミニコンサートや競技の手伝いをしてもらいスムーズに進行できた。子どもたちはそれぞれ自分なりの頑張りを見せてくれた。運動会の最後には一人一人プレゼントをもらいにこやかに帰って行った。ひとつ思い出が出来た子どもたち。今日は、ゆっくり休んでと見送った。



毎日の楽しみ

みどりの風

満三歳から入園した息子も、あっという間に年長組になりました。幼稚園に着いても、車から降りなかった頃が懐かしく思い出されます。「きょう、ドッチボールやってだんしチームがかったよ!」「リレーで〇〇くんにまけたから、こうえんではやくはしるれんしゅうをする!」学年が上がるにつれ、今まで聞いた事のないような言葉が増えてきました。今日はどんな出来事があったのかなと毎日話を楽しみにしています。少し前までは何を

やったのか聞いても、「わかんない」の一言でしたが、年長になった今は、はっきりと詳しく話してくれるようになりました。時には嬉しそうに、時には悲しそうに話す姿を見て、たくさんのお友達と触れ合う中で、言葉も心も日々、成長しているのだなあと感じています。毎日、ニコニコ笑顔で迎えて下さる先生方のおかげで元気に通い、楽しいお話を聞く事ができ感謝しています。



よしだ ふうま
ゆり組 吉田 楓麻くんのおかあさん
よしだ ひろこ
吉田 浩子さん



ようちえんってこんなところ



幼年消防クラブ編入式



「ぼくたち、わたしたちは、ひあそびをしません!!」

遠足



「ボールプールたのしいな!」

年長組の畑



「おいしいきゅうりができますように♡」



とらんぽりん

～ある日の保育日誌～



満3歳いちご組

6月1日(水)

今日から入園したA君。一日目ということもあってか緊張したようで静かだった。自分のことは何でも自分でやろうとし、話もよく聞いていた。少しすると教師の手を引き線路と一緒に作ろうと誘ったり、ままごとでお弁当を作って隣の組の友達に見せに行ったりした。徐々に笑顔が見られるようになり、クラスの友達ともいつの間にか仲良くなっていた。お互いによく話している姿が見られた。明日はどうなるかな?



「こむぎこねんどだよ!! たのしいな!」

年少組

5月26日(木)

赤、青、黄の小麦粉粘土遊びを楽しんだ。3色すべてすぐに混ぜて遊ぶ子。最後まで色が混ざらないようにする子。色の混ぜていく様子を楽しみながら少しずつ混ぜて「だんだんいろがかわってきたー!」とよく観察する子と様々だった。手に付くのを嫌がる子もいたが、いつもの粘土とはまた違う感触を「きもちいい」と楽しんでた。片付けになっても遊びたいと渋る子もいたが、家に持って帰ることを伝えると嬉しそうにしていた。

年中組

5月13日(金)

テラスに置いたプランターに一人一人ラディッシュの種をまいた。土を触ると「あったかい」「やわらかい」「おふとんみたい」と感じたことを言葉にしていた。水をあげると土の色が変わったことに気付く子もいた。日頃から五感を使うことで、たくさんすることに気づき、感覚も研ぎ澄まされていくのだろう。最後は、「おおきくなあれ! おいしくなあれ!!」とお願いをした。こういった経験を通して食や命の大切さを感じてほしいと思う。



「ラディッシュ、たくさんとれたよ～」

年長組

5月27日(金)

今日は八戸工業大学へ遠足。装置を使って津波がおきる様子や液状化がおこる様子を見学した。「すごい!」と驚きを隠せないようだった。その後、メディアセンターに移動しボールプールで思いっきり遊んだ。館内に歓声が響き渡った。最後はボールにマスキングテープを貼ってオリジナルのボールを作った。工大生が付き添いテープを切る手伝いや言葉がけをしてくれた。いつもと違う楽しさに子どもたちは手を振ってバスに乗り込んだ。

～いのちを守る行動を考える～ 防災・減災教育研修



防災・減災教育と三陸ジオパーク見学を兼ね、6月10日・11日の1泊2日、2・3年生が宮城県内を訪れた。震災遺構である石巻市の大川小学校や門脇小学校、仙台市の荒浜小学校の見学では、大津波による災害時にどう

やって避難するべきなのかを考えることができた。生徒らは、「自分だったらどのような判断をして命を守るか」を常に自問自答していた。

東松島市田野森（のびる）駅遺構見学では、大きく曲がった線路や鉄塔が根元から折れている様

子を見て、津波の脅威を実感した。石巻市の石ノ森漫画館や宮城県慶長使節船ミュージアム（サン・ファン館）、仙台うみの杜水族館で

の見学では、宮城県ゆかりの人物について理解するとともに、風土と歴史、自然について学んだ。生徒からは、「自分の命を守るためには、いち早く行動することが大切であることが分かった」「震災後、復興に向けて宮城県の皆さんが努力なさっていることを感じた」などの感想が数多くあった。



～集団生活で学ぶ自覚～ オリエンテーション

4月8日・10日の二日間、本校において、オリエンテーションを実施した。

校風である「礼儀・礼節」を意識した集団生活を通じて、相互理解を深めるとともに附属中生としての自覚をもつことを目的として実施された。

全学年揃っての自己紹介やアイスブレイク、教頭による中学校のルールについての講演、また高校生を含めた一貫コース生集会が行われた。なかでも、勉強の仕方などをアドバイスするワークショップでは、先輩が後輩に自身の体験を踏まえたアドバイスを真剣に伝える様子や、下級生の熱心にメモをとる姿が見られた。



～様々な視点からの熱い主張～ 校内弁論大会

6月8日、校内弁論大会が行われ、各学年の予選を勝ち抜いた計6名による熱い主張が繰り広げられた。

普段、心に秘めている想いや、現在の社会情勢などを題材に中学生弁士は全校生徒の前で自分の考えを発表した。審査の結果、2年村田晃大君の「生きていることへの感謝の仕方」が最優秀賞を獲得した。村田君は、社会で起きている問題や現状に目を向け、どのように生きていくべきかを考えることの重要性を述べた。優秀賞に輝いた1年大山遥舞君は「今を生きる」と題し、コロナ禍を例にものごとをどう前向きに捉えるかの大切さを述べた。弁論を聞いていた生徒からは、「環境問題や、捉え方の違いなど、興味深いものばかりですごい」「自分の意見や実際にあったことなどを元に発表していて、説得力があった」などの感想があった。仲間の主張は、自分の日頃の行動や考え方を見直す良い機会となった。



～ご寄付のお願い～

「八戸工業大学第一高等学校教育基金」

本校では、生徒が社会を逞しく生き抜き、社会に貢献できる人材となるため、日々教育内容の改革を進めているところです。つきましては、生徒のため本校が更なる発展ができますようご協力をお願いいたします。

なお、詳しくは事務局までお問い合わせください。



<事務局>

〒031-0822 青森県八戸市白銀町右岩淵通7-10
八戸工業大学第一高等学校 事務室内
Tel 0178 (33) 5121 / Fax 0178 (34) 3942

理事会・評議員会

◇4月27日 理事会

- ・「新型コロナウイルス感染症に伴う八戸工業大学学費等減免特別支援規程」改正に関する件
- ・令和4年度資産運用方針及び資産運用に関する件

◇5月27日 理事会・評議員会

- ・令和3年度監査報告に関する件
- ・令和3年度事業報告に関する件
- ・令和3年度決算に関する件
- ・八戸工業大学「名誉教授の称号」授与に関する件

◇6月29日 理事会

- ・八戸工業大学アーチプロジェクト活動支援基金に関する件
- ・八戸工業大学第一高等学校教育基金に関する件

表紙 八戸工業大学第一高等学校